

(5) 高齢者の暮らしについて

① 高齢者に対するまちづくりへの満足感

問7 北九州市では、高齢者がいつまでもいきいきと活躍でき、また介護が必要となっても安心して住み慣れた地域で暮らしていける環境づくりを進めるため、健康づくり・介護予防の推進、生きがいつくりの支援、認知症対策や高齢者の虐待防止・権利擁護の取組の推進、高齢者施設や在宅福祉の充実などに取り組んでいます。そこで、おたずねします。

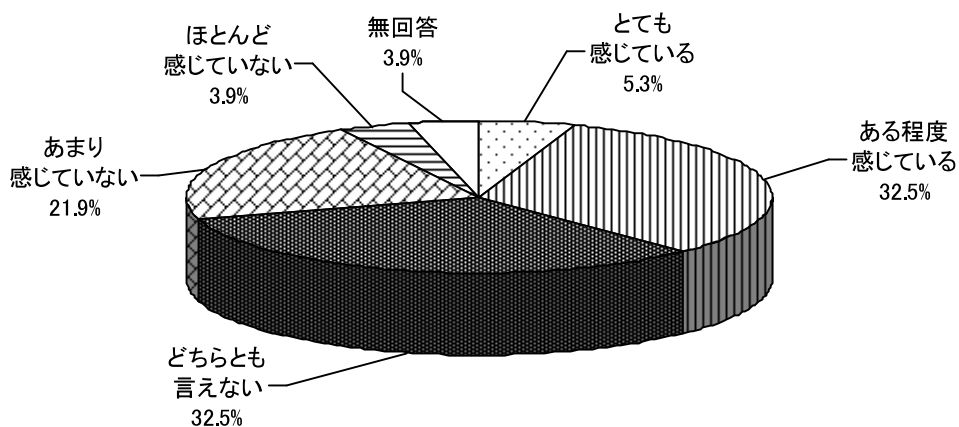
あなたは、北九州市は高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していけるまちだと感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 とても感じている	70	5.3
2 ある程度感じている	429	32.5
3 どちらとも言えない	429	32.5
4 あまり感じていない	290	21.9
5 ほとんど感じていない	52	3.9
無回答	52	3.9

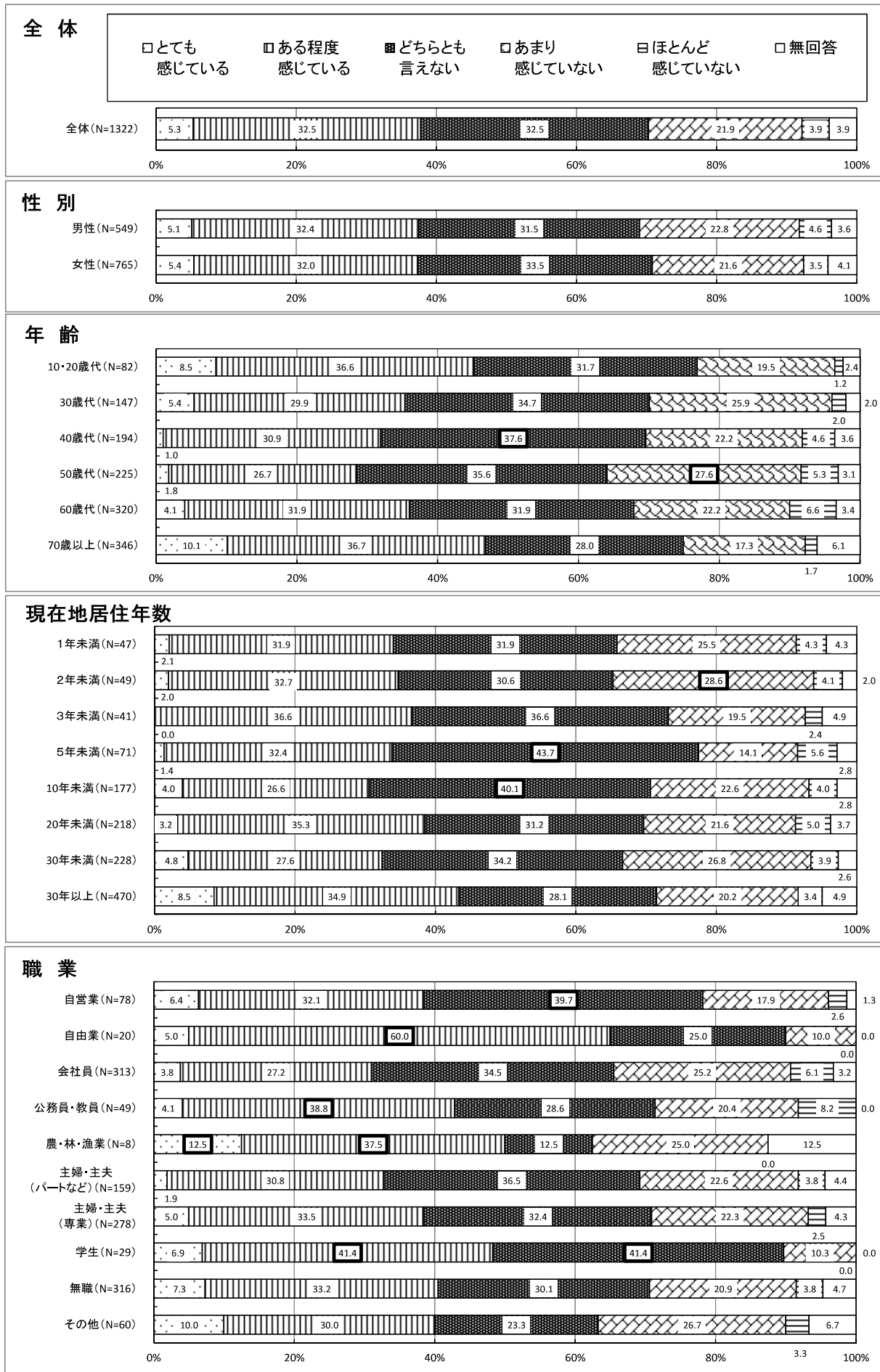
◇ 高齢者に対するまちづくりへの、市民の満足感は、

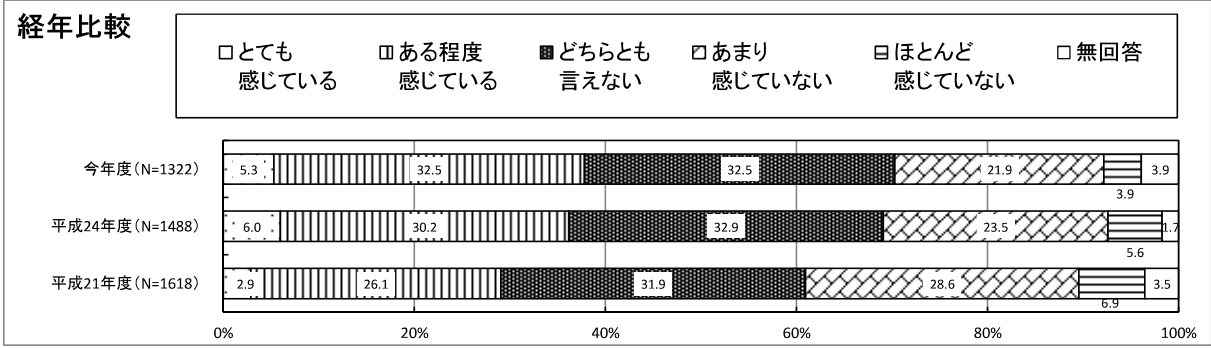
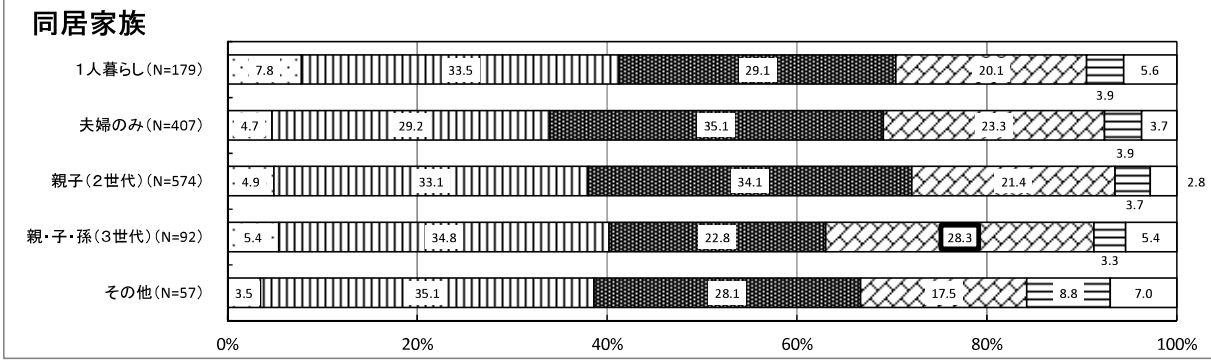
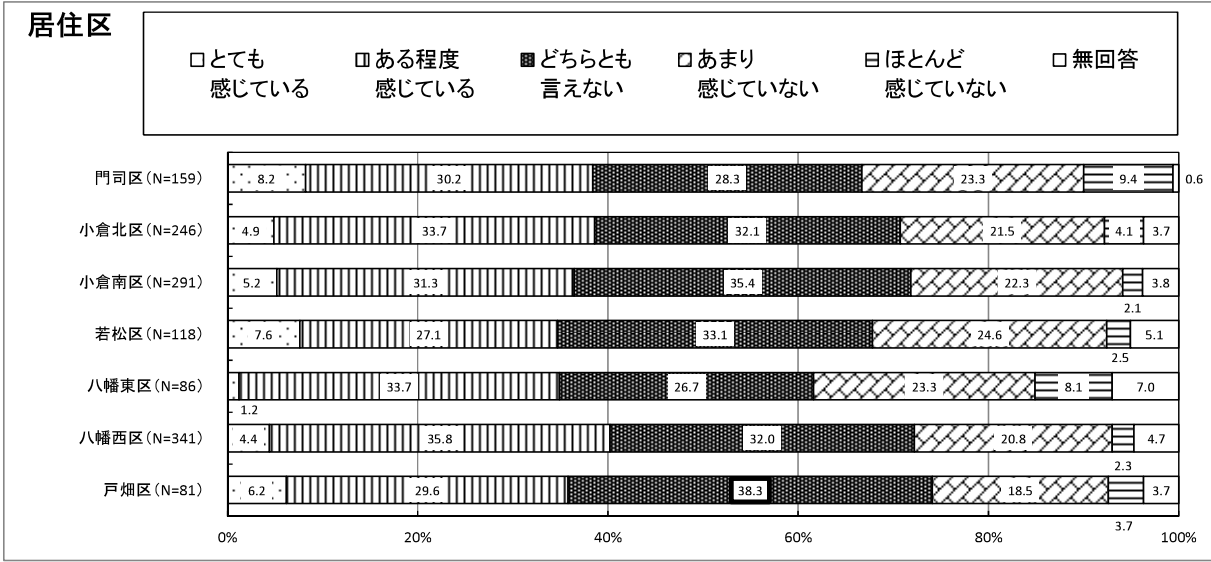
- ・肯定層 37.8%
 (「とても感じている」5.3%+「ある程度感じている」32.5%)
- ・否定層 25.8%
 (「あまり感じていない」21.9%+「ほとんど感じていない」3.9%)



とても感じている
 ある程度感じている
 どちらとも言えない
 あまり感じていない
 ほとんど感じていない
 無回答

① 高齢者に対するまちづくりへの満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

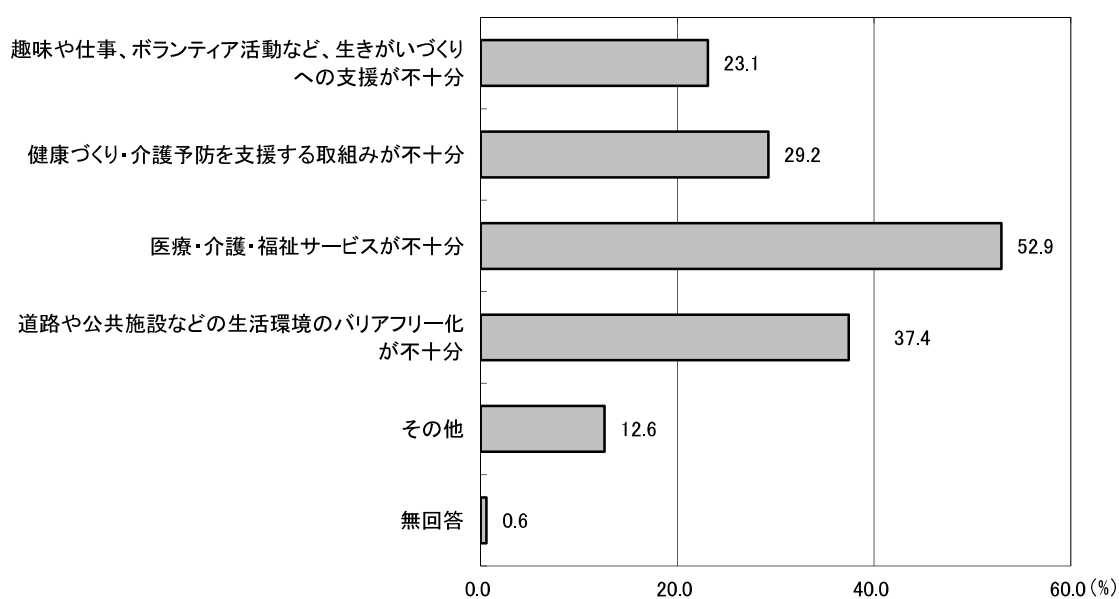
② 高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由

副問7-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 342 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 趣味や仕事、ボランティア活動など、生きがいづくりへの支援が不十分	79	23.1
2 健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分	100	29.2
3 医療・介護・福祉サービスが不十分	181	52.9
4 道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分	128	37.4
5 その他	43	12.6
無回答	2	0.6

- ◇ 高齢者がいきいきと生活していけるまちだと、感じられない主な理由は、
- 1位 「医療・介護・福祉サービスが不十分」(52.9%)
 - 2位 「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」(37.4%)
 - 3位 「健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分」(29.2%)



② 高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由

		サンプル数	趣味や仕事、ボランティア活動など、生きがいづくりへの支援が不十分	健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分	医療・介護・福祉サービスが不十分	道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分	その他	無回答
全体		342	23.1	29.2	52.9	37.4	12.6	0.6
性別	男性	150	22.0	28.7	56.0	33.3	12.7	0.7
	女性	192	24.0	29.7	50.5	40.6	12.5	0.5
年齢別	10・20歳代	17	0.0	23.5	23.5	52.9	35.3	0.0
	30歳代	41	22.0	36.6	46.3	41.5	14.6	0.0
	40歳代	52	26.9	25.0	51.9	50.0	7.7	0.0
	50歳代	74	21.6	27.0	59.5	35.1	14.9	0.0
	60歳代	92	32.6	35.9	57.6	29.3	8.7	0.0
	70歳以上	66	15.2	22.7	51.5	34.8	12.1	3.0
現在地居住年数別	1年未満	14	14.3	35.7	42.9	50.0	0.0	0.0
	2年未満	16	25.0	37.5	31.3	43.8	12.5	6.3
	3年未満	9	11.1	33.3	66.7	55.6	0.0	0.0
	5年未満	14	14.3	28.6	50.0	50.0	7.1	0.0
	10年未満	47	8.5	25.5	53.2	34.0	19.1	0.0
	20年未満	58	20.7	27.6	58.6	31.0	12.1	0.0
	30年未満	70	28.6	32.9	54.3	34.3	12.9	0.0
	30年以上	111	29.7	27.0	52.3	38.7	12.6	0.9
職業別	自営業	16	6.3	18.8	50.0	43.8	18.8	0.0
	自由業	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	98	23.5	31.6	61.2	28.6	16.3	0.0
	公務員・教員	14	21.4	35.7	78.6	21.4	0.0	0.0
	農・林・漁業	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	42	35.7	33.3	45.2	47.6	9.5	0.0
	主婦・主夫(専業)	69	24.6	20.3	46.4	47.8	8.7	1.4
	学生	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	無職	78	19.2	28.2	50.0	39.7	12.8	1.3
	その他	18	16.7	55.6	50.0	22.2	16.7	0.0
居住区別	門司区	52	23.1	21.2	53.8	40.4	15.4	0.0
	小倉北区	63	23.8	34.9	55.6	33.3	15.9	0.0
	小倉南区	71	26.8	28.2	45.1	47.9	8.5	0.0
	若松区	32	28.1	28.1	56.3	31.3	9.4	0.0
	八幡東区	27	18.5	29.6	44.4	44.4	14.8	0.0
	八幡西区	79	17.7	31.6	57.0	31.6	13.9	2.5
	戸畑区	18	27.8	27.8	61.1	27.8	5.6	0.0
同居家族別	1人暮らし	43	16.3	37.2	53.5	27.9	14.0	0.0
	夫婦のみ	111	26.1	26.1	56.8	33.3	12.6	0.0
	親子(2世代)	144	23.6	28.5	50.0	42.4	13.9	0.7
	親・子・孫(3世代)	29	24.1	17.2	48.3	48.3	6.9	3.4
	その他	15	13.3	60.0	60.0	26.7	6.7	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

高齢者に対するまちづくりへの満足感

【全体的傾向】

高齢者に対するまちづくりへの満足感をみると、「とても感じている」は 5.3%、「ある程度感じている」は 32.5%、合計すると、肯定層は 37.8%である。一方、「あまり感じていない」は 21.9%、「ほとんど感じていない」は 3.9%、合計すると、否定層は 25.8%である。肯定層（37.8%）が否定層（25.8%）を 12.0 ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、肯定層は、70歳以上（46.8%）で最も高く、次いで 10・20歳代で 45.1%と、これらの層で比較的高くなっている。
- 現在地居住年数別にみると、肯定層は 30年以上で 43.4%と最も高くなっている。
- 職業別にみると、肯定層は、自由業で 65.0%と特に高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は八幡西区（40.2%）で最も高く、若松区（34.7%）で最も低くなっており、その差は 5.5 ポイントである。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成 21 年度及び 24 年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成 21 年度 29.0%→平成 24 年度 36.2%→今年度 37.8%と、毎回高くなっている。逆に否定層は、平成 21 年度 35.5%→平成 24 年度 29.1%→今年度 25.8%と、毎回低くなっている。

高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由

【全体的傾向】

高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない主な理由は、「医療・介護・福祉サービスが不十分」（52.9%）が最も高く、次いで「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」（37.4%）、「健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分」（29.2%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」は、10・20歳代（52.9%）、30歳代（41.5%）及び 40歳代（50.0%）で 4割を上回っており、50歳代から 70歳以上に比べて高くなっている。
- 居住区別にみると、戸畑区では「医療・介護・福祉サービスが不十分」が 61.1%と高くなっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 経済的な面で老後が不安である。
- ・ 地域により独居世帯が多いと思うので、その地域への活気ある取組みを。
- ・ 高齢者用住宅（ある程度の負担ありで食事付）が少ない。

(6) 人にやさしいまちづくりについて

① すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことへの満足感

問8 北九州市では、すべての市民が年齢、性別、障害の有無、国籍、社会的身分又は門地などにかかわらず安心して学び、働き、活動できるまちづくりを進めるため、「人権講演会」や「人権の約束事運動」、「男女共同参画の推進」、「多文化共生の推進」などに取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市はすべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができるまちだと感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 とても感じている	36	2.7
2 ある程度感じている	395	29.9
3 どちらとも言えない	548	41.5
4 あまり感じていない	252	19.1
5 ほとんど感じていない	42	3.2
無回答	49	3.7

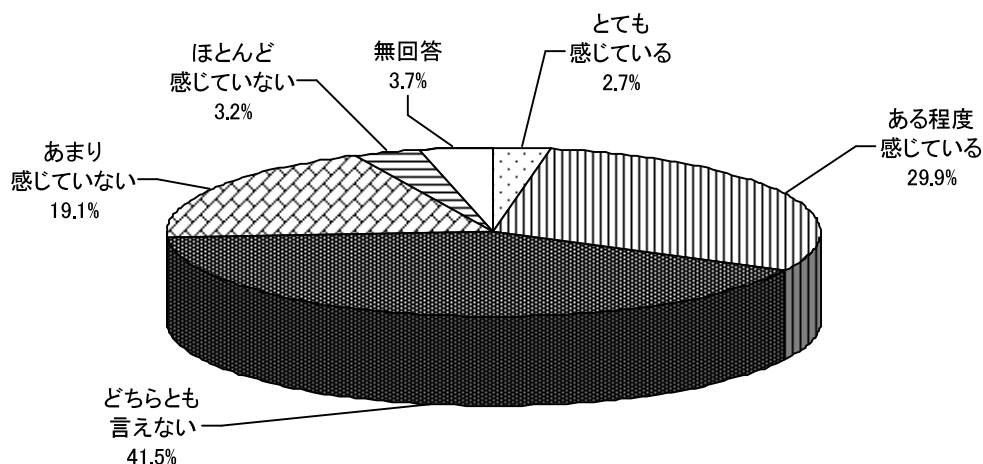
◇ お互いを尊重し安心して暮らすことができるまちであることの、市民の満足感は、

・肯定層 32.6%

(「とても感じている」2.7%+「ある程度感じている」29.9%)

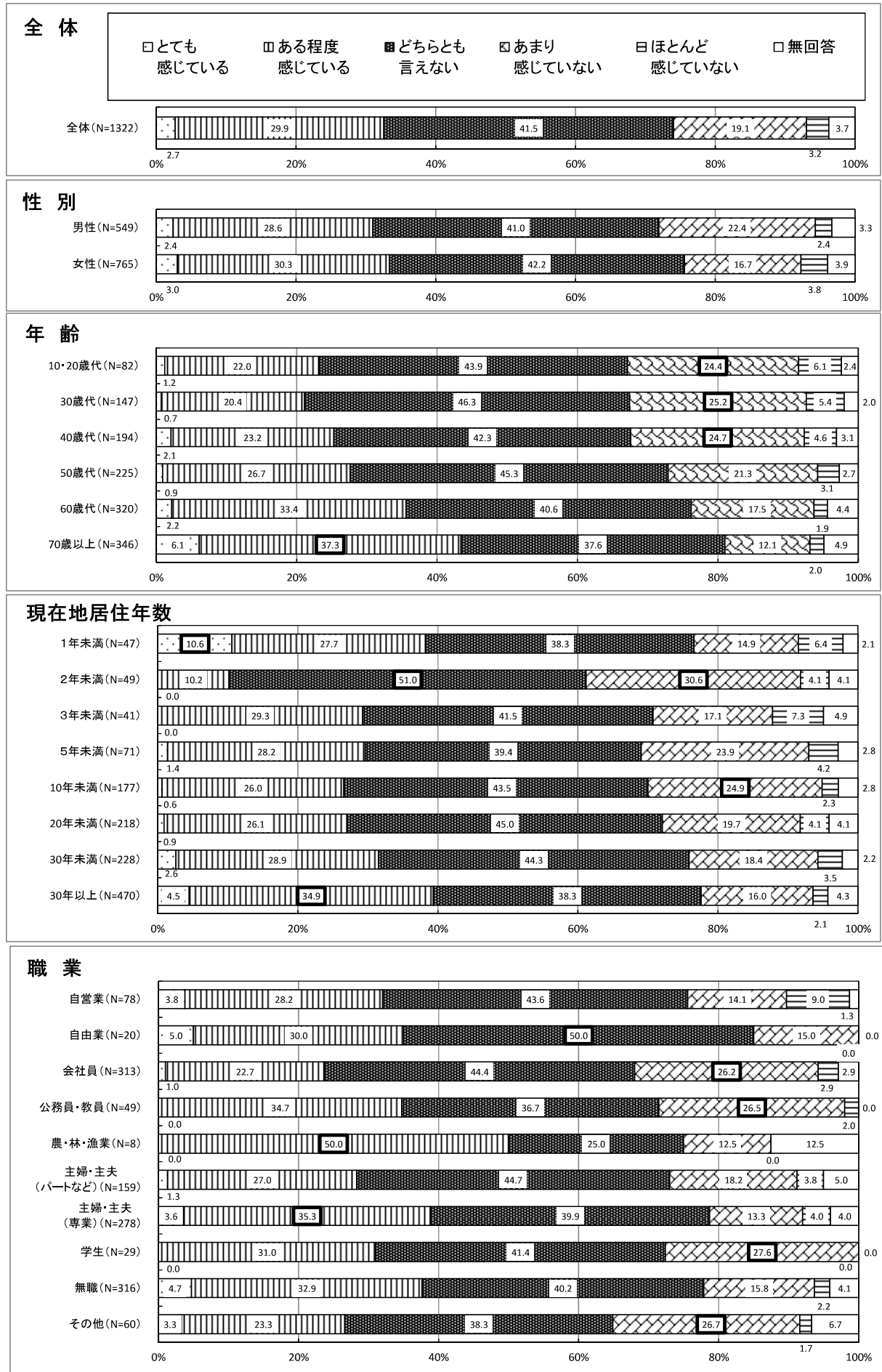
・否定層 22.3%

(「あまり感じていない」19.1%+「ほとんど感じていない」3.2%)



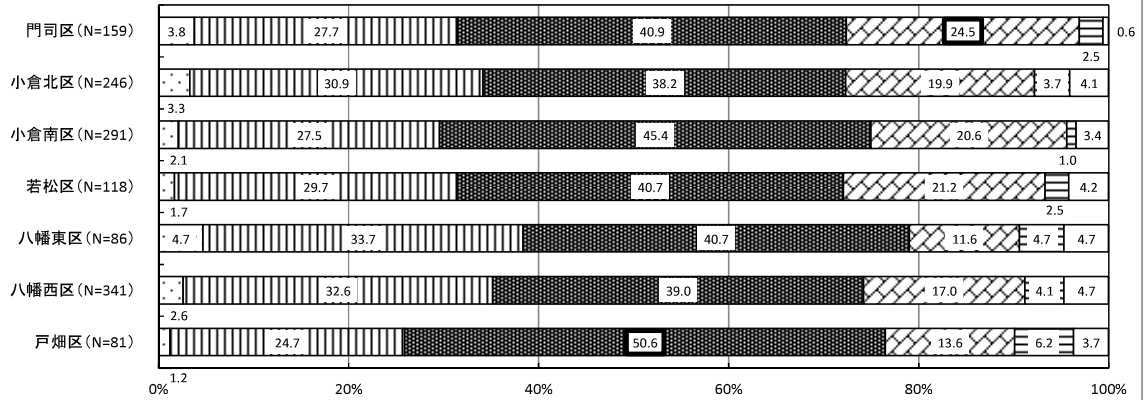
とても感じている
 ある程度感じている
 どちらとも言えない
 あまり感じていない
 ほとんど感じていない
 無回答

① すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことへの満足感

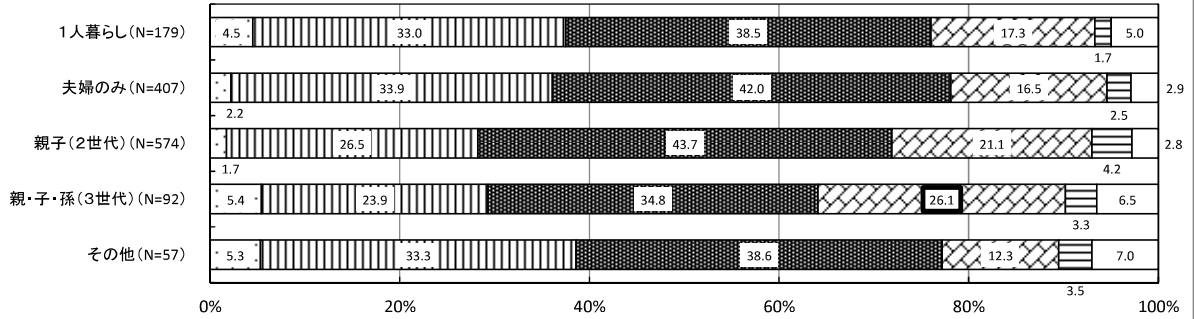


居住区

とても感じている
 ある程度感じている
 どちらとも言えない
 あまり感じていない
 ほとんど感じていない
 無回答

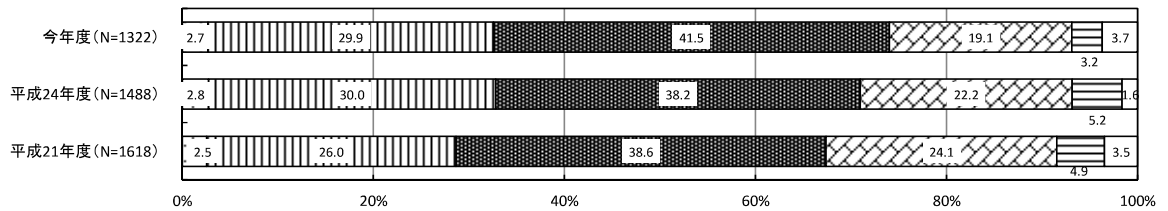


同居家族



経年比較

とても感じている
 ある程度感じている
 どちらとも言えない
 あまり感じていない
 ほとんど感じていない
 無回答



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

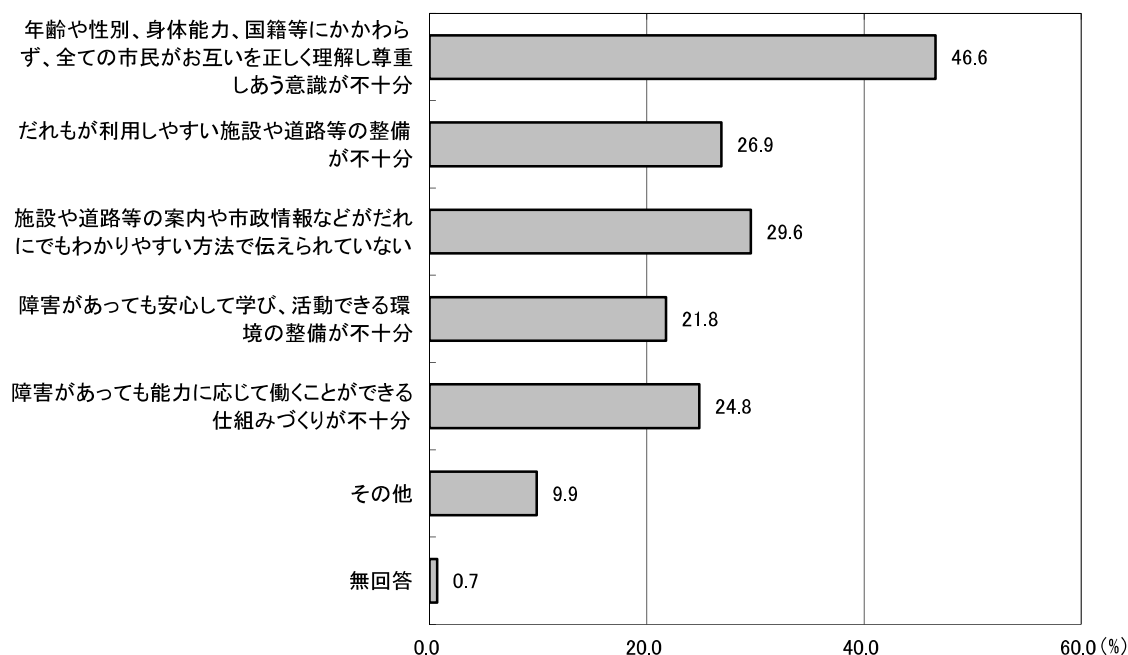
② 市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由

副問 8-1 (4もしくは5と選んだ) 理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 294 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 年齢や性別、身体能力、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理解し尊重しあう意識が不十分	137	46.6
2 だれもが利用しやすい施設や道路等の整備が不十分	79	26.9
3 施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない	87	29.6
4 障害があっても安心して学び、活動できる環境の整備が不十分	64	21.8
5 障害があっても能力に応じて働くことができる仕組みづくりが不十分	73	24.8
6 その他	29	9.9
無回答	2	0.7

- ◇ 市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない主な理由は、
- 1位 「年齢や性別、身体能力、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理解し尊重しあう意識が不十分」(46.6%)
 - 2位 「施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない」(29.6%)
 - 3位 「だれもが利用しやすい施設や道路等の整備が不十分」(26.9%)



② 市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由

		サンプル数	し ら ず 、 年 齢 や 性 別 、 身 体 能 力 、 国 籍 等 に か 理 か 解 わ ら ず 、 全 て の 市 民 が お 互 い を 正 し く 理 か 解 わ る 意 識 が 不 十 分	だ れ も が 利 用 し や す い 施 設 や 道 路 等 の 整 備 が 不 十 分	い な い に も わ か り や す い 方 法 で 伝 え ら れ て だ れ も が 利 用 し や す い 施 設 や 道 路 等 の 整 備 が 不 十 分	施 設 や 道 路 等 の 案 内 や 市 政 情 報 な ど が だ れ も が 利 用 し や す い 方 法 で 伝 え ら れ て だ れ も が 利 用 し や す い 施 設 や 道 路 等 の 整 備 が 不 十 分	障 害 が あ っ て も 安 心 し て 学 び 、 活 動 で き る 環 境 の 整 備 が 不 十 分	障 害 が あ っ て も 能 力 に 応 じ て 働 く こ と が で き る 仕 組 み づ く り が 不 十 分	そ の 他	無 回 答
全体		294	46.6	26.9	29.6	21.8	24.8	9.9	0.7	
性別	男性	136	50.0	24.3	28.7	24.3	25.7	8.1	0.7	
	女性	157	43.9	29.3	30.6	19.1	24.2	11.5	0.6	
年齢別	10・20歳代	25	44.0	28.0	28.0	12.0	8.0	24.0	0.0	
	30歳代	45	53.3	15.6	20.0	24.4	33.3	20.0	2.2	
	40歳代	57	50.9	29.8	19.3	22.8	22.8	12.3	1.8	
	50歳代	55	41.8	18.2	34.5	27.3	34.5	3.6	0.0	
	60歳代	62	51.6	32.3	33.9	19.4	24.2	3.2	0.0	
	70歳以上	49	36.7	36.7	40.8	18.4	18.4	6.1	0.0	
現在地 居住年数 別	1年未満	10	50.0	30.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	
	2年未満	17	70.6	23.5	11.8	23.5	11.8	11.8	0.0	
	3年未満	10	40.0	30.0	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	
	5年未満	20	35.0	20.0	40.0	10.0	30.0	10.0	0.0	
	10年未満	48	56.3	10.4	14.6	27.1	29.2	18.8	0.0	
	20年未満	52	50.0	21.2	28.8	19.2	30.8	9.6	1.9	
	30年未満	50	46.0	38.0	32.0	24.0	26.0	8.0	0.0	
	30年以上	85	38.8	34.1	36.5	21.2	20.0	5.9	1.2	
職業別	自営業	18	55.6	27.8	27.8	11.1	27.8	22.2	0.0	
	自由業	3	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
	会社員	91	47.3	17.6	27.5	26.4	30.8	11.0	2.2	
	公務員・教員	14	71.4	21.4	7.1	21.4	21.4	0.0	0.0	
	農・林・漁業	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	主婦・主夫(パートなど)	35	48.6	22.9	25.7	31.4	34.3	2.9	0.0	
	主婦・主夫(専業)	48	39.6	41.7	27.1	22.9	16.7	12.5	0.0	
	学生	8	37.5	37.5	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0	
	無職	57	36.8	35.1	40.4	14.0	22.8	8.8	0.0	
	その他	17	52.9	17.6	52.9	0.0	17.6	11.8	0.0	
居住区別	門司区	43	46.5	27.9	25.6	18.6	23.3	9.3	2.3	
	小倉北区	58	48.3	22.4	25.9	22.4	27.6	12.1	0.0	
	小倉南区	63	52.4	28.6	27.0	22.2	23.8	3.2	1.6	
	若松区	28	57.1	25.0	28.6	21.4	17.9	7.1	0.0	
	八幡東区	14	28.6	21.4	35.7	21.4	28.6	14.3	0.0	
	八幡西区	72	37.5	30.6	33.3	26.4	30.6	13.9	0.0	
	戸畑区	16	56.3	25.0	43.8	6.3	6.3	12.5	0.0	
同居 家族別	1人暮らし	34	23.5	20.6	55.9	11.8	26.5	8.8	0.0	
	夫婦のみ	77	53.2	36.4	27.3	22.1	19.5	5.2	0.0	
	親子(2世代)	145	44.1	26.2	25.5	22.8	28.3	13.1	1.4	
	親・子・孫(3世代)	27	63.0	14.8	29.6	25.9	25.9	3.7	0.0	
	その他	9	66.7	22.2	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0	

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことへの満足感

【全体的傾向】

すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことへの満足感をみると、「とても感じている」は2.7%、「ある程度感じている」は29.9%、合計すると、肯定層は32.6%である。一方、「あまり感じていない」は19.1%、「ほとんど感じていない」は3.2%、合計すると、否定層は22.3%である。

肯定層（32.6%）が否定層（22.3%）を10.3ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、肯定層は30歳代で21.1%、10・20歳代で23.2%であるが、70歳代で43.4%、60歳代で35.6%、50歳代で27.6%となっており、概ね年齢が高いほど高くなっている。否定層は70歳代で14.1%、60歳代で19.4%であるが、30歳代30.6%、10・20歳代で30.5%、40歳代で29.3%となっており、概ね年齢が低いほど高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は八幡東区（38.4%）で最も高く、戸畑区（25.9%）で最も低く、その差は12.5ポイントとなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成21年度及び24年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成21年度（28.5%）に対し平成24年度（32.8%）は高くなったが、今年度（32.6%）はほぼ横這いであった。一方、否定層は、平成21年度29.0%→平成24年度27.4%→今年度22.3%と、毎回低くなっている。

市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由

【全体的傾向】

市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない主な理由は、「年齢や性別、身体能力、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理解し尊重しあう意識が不十分」（46.6%）が最も高く、次いで「施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない」（29.6%）、「だれもが利用しやすい施設や道路等の整備が不十分」（26.9%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、70歳以上では、「施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない」が40.8%と、トップの理由になっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 外国の人に交通マナーや常識が伝わってなく、あぶない事が多々ある。
- ・ インターナショナルな学校がない。もっとグローバル化を目指して欲しい。
- ・ 障害者への理解がまだ少ない。

(7) 快適な生活空間について

① 住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感

問9 北九州市では、市民の意見を取り入れた公園づくりや、安心して通行できる身近な道路の整備、安心しておいしく飲める水の提供など、暮らしやすい環境づくりを進めています。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市は住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境を有するまちだと感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 とても感じている	181	13.7
2 ある程度感じている	706	53.4
3 どちらとも言えない	214	16.2
4 あまり感じていない	143	10.8
5 ほとんど感じていない	26	2.0
無回答	52	3.9

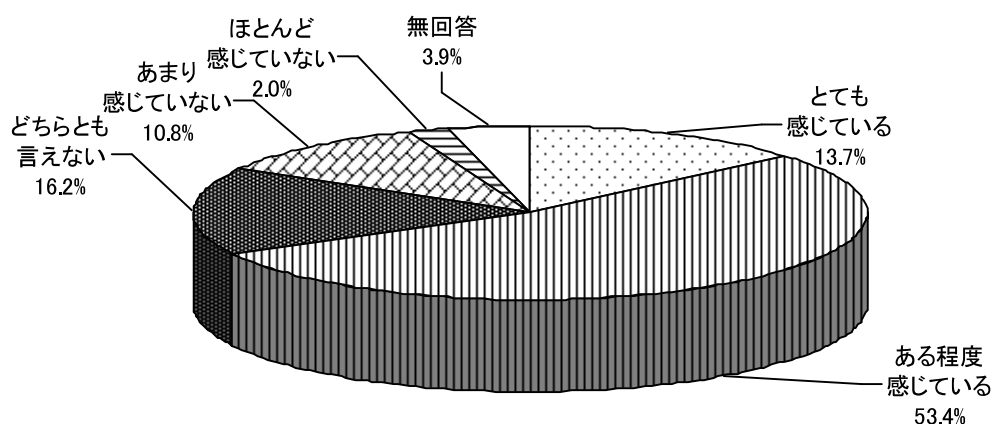
◇ 住みやすい生活環境を有するまちであることへ、市民の満足感は、

・肯定層 67.1%

(「とても感じている」13.7%+「ある程度感じている」53.4%)

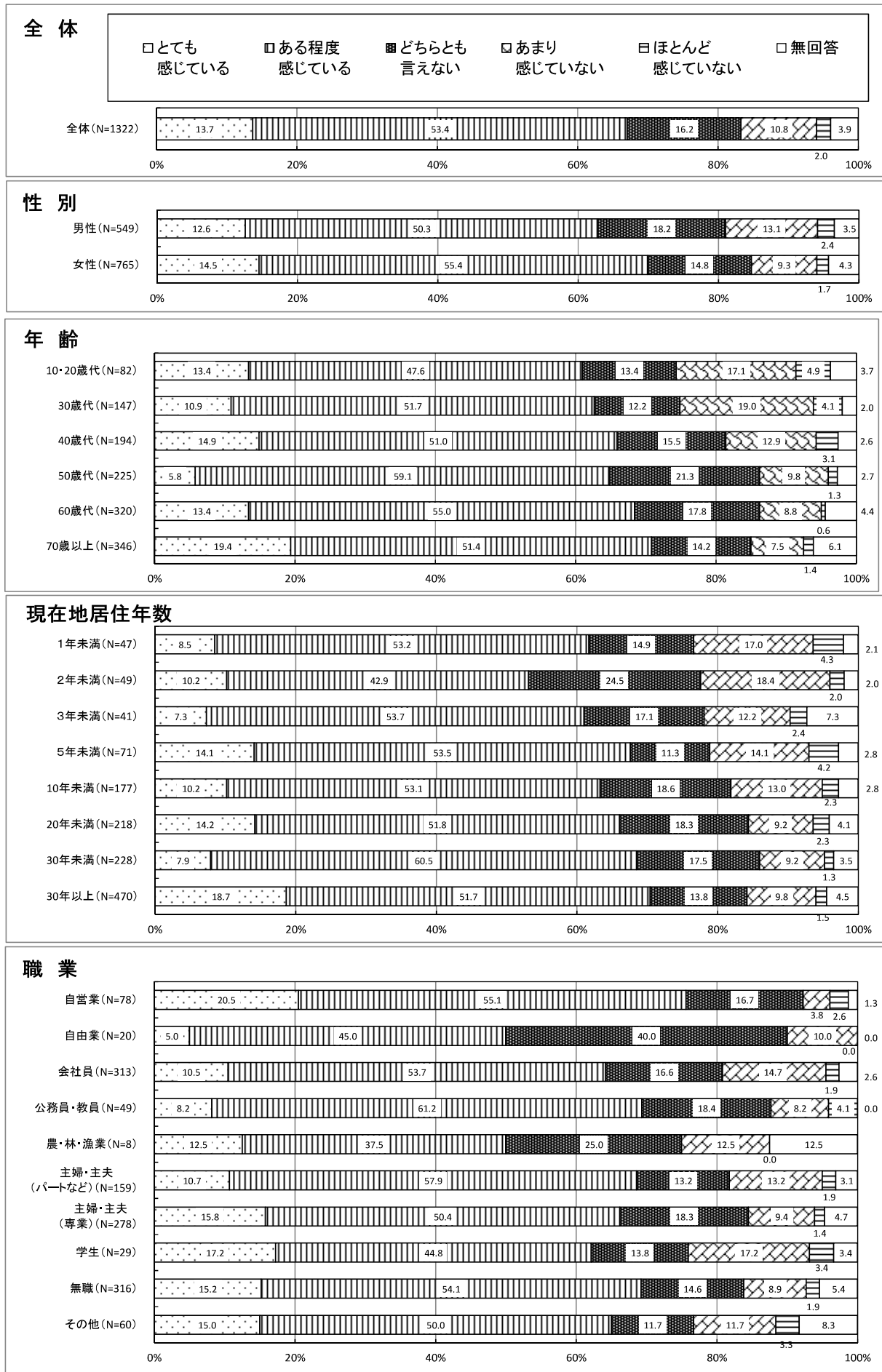
・否定層 12.8%

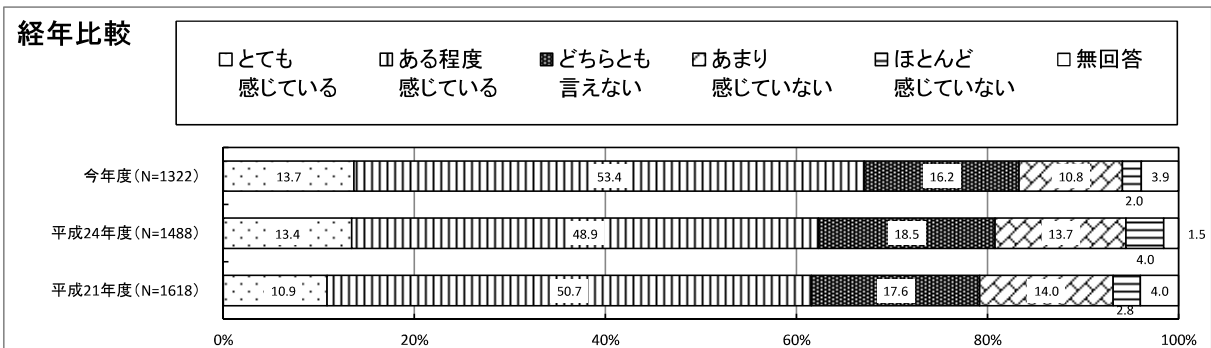
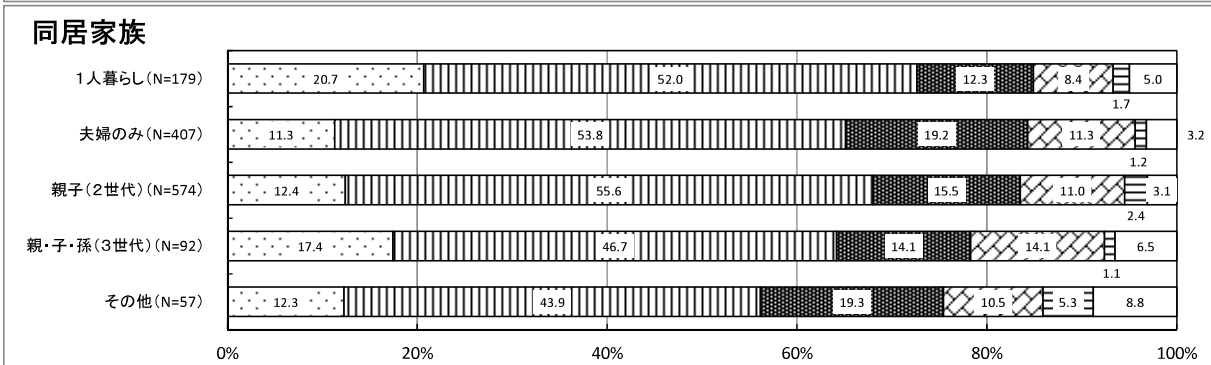
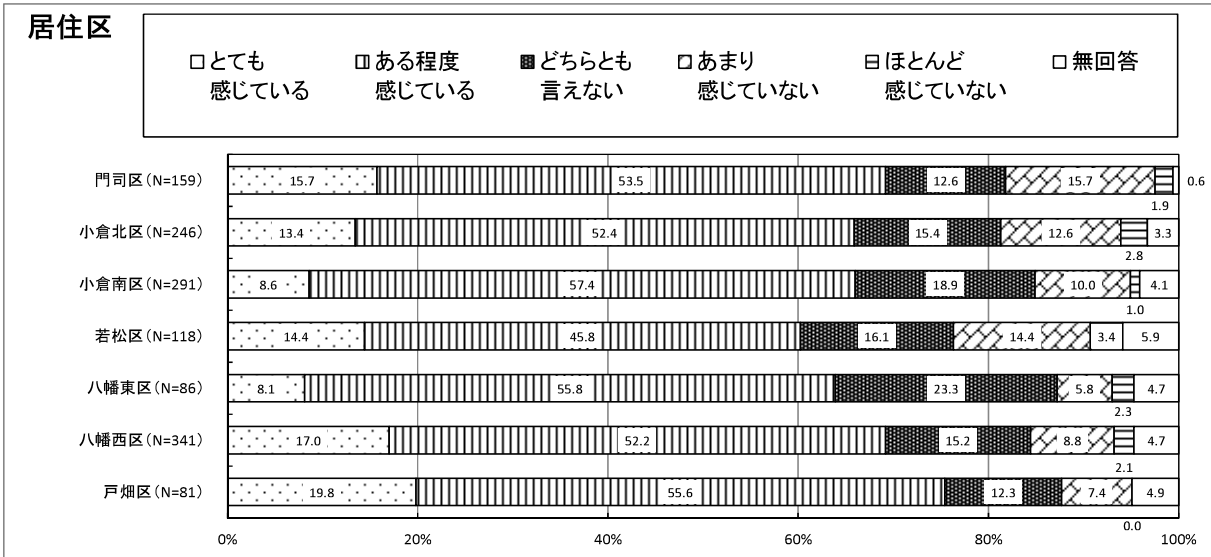
(「あまり感じていない」10.8%+「ほとんど感じていない」2.0%)



□ とても感じている □ ある程度感じている ■ どちらとも言えない □ あまり感じていない □ ほとんど感じていない □ 無回答

① 住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

② 住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない理由

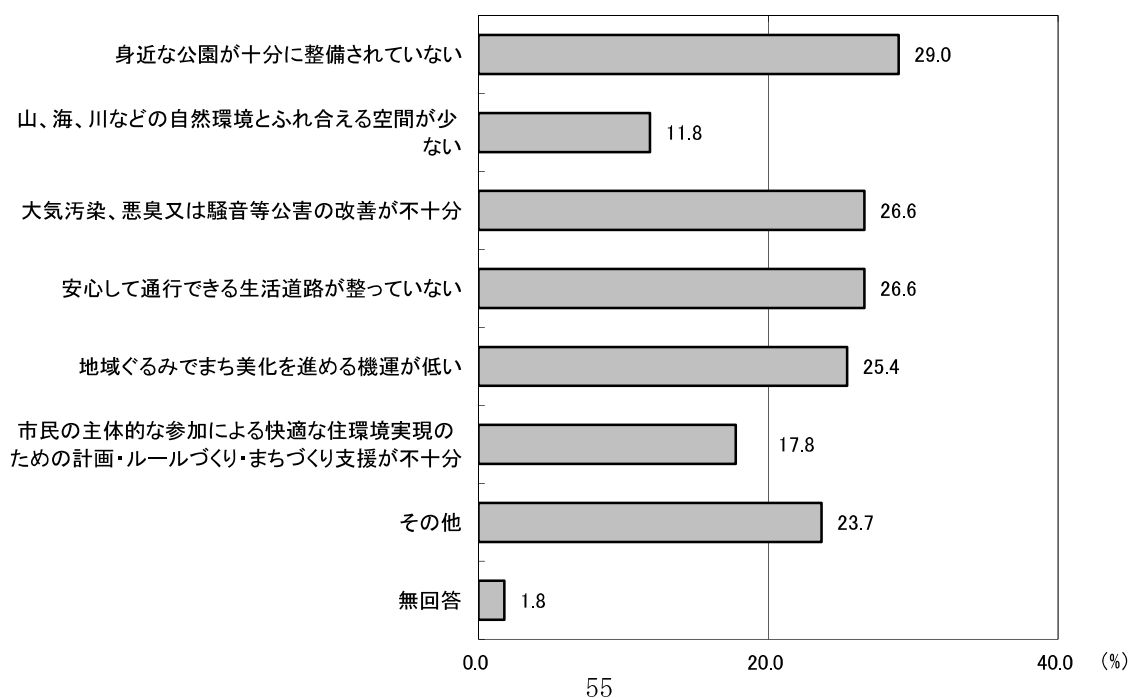
副問9-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 169人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 身近な公園が十分に整備されていない	49	29.0
2 山、海、川などの自然環境とふれ合える空間が少ない	20	11.8
3 大気汚染、悪臭又は騒音等公害の改善が不十分	45	26.6
4 安心して通行できる生活道路が整っていない	45	26.6
5 地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い	43	25.4
6 市民の主体的な参加による快適な住環境実現のための計画・ルールづくり・まちづくり支援が不十分	30	17.8
7 その他	40	23.7
無回答	3	1.8

◇ 住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない主な理由は、

- 1位 「身近な公園が十分に整備されていない」(29.0%)
- 2位 「大気汚染、悪臭又は騒音等公害の改善が不十分」(26.6%)
「安心して通行できる生活道路が整っていない」(26.6%)
- 3位 「地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い」(25.4%)



② 住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない理由

		サンプル数	身近な公園が十分に整備されていない	山、海、川などの自然環境とふれ合える空間が少ない	大気汚染、悪臭又は騒音等公害の改善が不十分	安心して通行できる生活道路が整っていない	地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い	市民の主体的な参加による快適な住環境の実現のための計画・ルールづくり支援が不十分	その他	無回答
全体		169	29.0	11.8	26.6	26.6	25.4	17.8	23.7	1.8
性別	男性	85	28.2	14.1	22.4	24.7	28.2	17.6	22.4	2.4
	女性	84	29.8	9.5	31.0	28.6	22.6	17.9	25.0	1.2
年齢別	10・20歳代	18	11.1	27.8	33.3	33.3	11.1	0.0	38.9	0.0
	30歳代	34	38.2	8.8	35.3	29.4	20.6	17.6	14.7	0.0
	40歳代	31	35.5	9.7	29.0	35.5	19.4	19.4	25.8	0.0
	50歳代	25	36.0	12.0	20.0	20.0	28.0	36.0	20.0	0.0
	60歳代	30	20.0	16.7	26.7	26.7	33.3	23.3	16.7	0.0
	70歳以上	31	25.8	3.2	16.1	16.1	35.5	6.5	32.3	9.7
現所在地居住年数別	1年未満	10	30.0	20.0	20.0	60.0	10.0	20.0	10.0	0.0
	2年未満	10	10.0	20.0	40.0	30.0	10.0	20.0	20.0	0.0
	3年未満	6	33.3	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0
	5年未満	13	53.8	7.7	30.8	30.8	7.7	7.7	23.1	0.0
	10年未満	27	11.1	18.5	25.9	18.5	25.9	14.8	33.3	0.0
	20年未満	25	36.0	12.0	24.0	20.0	32.0	32.0	20.0	0.0
	30年未満	24	45.8	12.5	20.8	25.0	37.5	16.7	25.0	0.0
	30年以上	53	22.6	5.7	30.2	24.5	26.4	15.1	22.6	5.7
職業別	自営業	5	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
	自由業	2	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	会社員	52	38.5	13.5	32.7	25.0	21.2	21.2	23.1	0.0
	公務員・教員	6	33.3	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
	農・林・漁業	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	24	20.8	12.5	20.8	25.0	37.5	25.0	25.0	0.0
	主婦・主夫(専業)	30	26.7	6.7	33.3	33.3	6.7	16.7	23.3	3.3
	学生	6	0.0	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0
	無職	34	26.5	5.9	20.6	26.5	41.2	11.8	17.6	5.9
	その他	9	33.3	11.1	11.1	33.3	33.3	11.1	44.4	0.0
居住区別	門司区	28	39.3	17.9	25.0	39.3	21.4	14.3	14.3	0.0
	小倉北区	38	13.2	26.3	36.8	23.7	15.8	7.9	36.8	2.6
	小倉南区	32	40.6	0.0	9.4	31.3	28.1	18.8	28.1	0.0
	若松区	21	28.6	4.8	33.3	19.0	9.5	28.6	19.0	0.0
	八幡東区	7	42.9	0.0	14.3	14.3	28.6	57.1	14.3	0.0
	八幡西区	37	24.3	10.8	27.0	18.9	45.9	18.9	18.9	5.4
	戸畑区	6	33.3	0.0	50.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0
同居家族別	1人暮らし	18	44.4	16.7	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	0.0
	夫婦のみ	51	17.6	11.8	23.5	21.6	31.4	27.5	15.7	3.9
	親子(2世代)	77	35.1	7.8	28.6	26.0	27.3	14.3	26.0	1.3
	親・子・孫(3世代)	14	21.4	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3	35.7	0.0
	その他	9	22.2	11.1	33.3	44.4	22.2	11.1	33.3	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感

【全体的傾向】

住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感をみると、「とても感じている」は13.7%、「ある程度感じている」は53.4%、合計すると、肯定層は67.1%である。一方、「あまり感じていない」は10.8%、「ほとんど感じていない」は2.0%、合計すると、否定層は12.8%である。

肯定層（67.1%）が否定層（12.8%）を54.3ポイント差で、非常に大きく上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、肯定層は全ての年齢層で6割を上回り、特に70歳以上で7割を上回っている。
- 居住区別にみると、肯定層は戸畑区で75.4%と特に高くなっている。
- 同居家族別にみると、肯定層は1人暮らしで72.7%と特に高くなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成21年度及び24年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成21年度61.6%→平成24年度62.3%→今年度67.1%と、毎回高くなっている。否定層は、平成21年度（16.8%）に対し平成24年度（17.7%）はわずかながら高くなったが、今年度（12.8%）は低くなっている。

住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない理由

【全体的傾向】

住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない主な理由は、「身近な公園が十分に整備されていない」（29.0%）が最も高く、次いで「大気汚染、悪臭又は騒音等公害の改善が不十分」（26.6%）、「地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い」（25.4%）となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「山、海、川などの自然環境とふれ合える空間が少ない」は、10・20歳代で27.8%と、他の年齢層に比べて高くなっている。「身近な公園が十分に整備されていない」は30歳代（38.2%）、50歳代（36.0%）、40歳代（35.5%）で高くなっている。また、「市民の主体的な参加による快適な住環境実現のための計画・ルールづくり・まちづくり支援が不十分」は50歳代で36.0%と、他の年齢層に比べて高くなっており、年齢層により傾向にバラツキがみられる。
- 現在地居住年数別にみると、「安心して通行できる生活道路が整っていない」は1年未満で60.0%と特に高くなっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 街の中心部は道路も整備されているが、本当に必要な住宅地等の道路整備はまだまだ。

- 空き家の整備が必要だと思います。
- 公園の雑草の処理を、もっとこまめに行ってほしい。
- タバコのポイ捨てが多すぎます。